

TYPE OF INDUSTRY

科学技術・大学

情報通信研究機構  
**NICT**  
先端研究

(125)

近年利用が増えている携帯電話やIoT（モノのインターネット）などの無線機器は、我々の生活を便利で豊かにしてくれているが、これらの無線機器が停電などで使えなくなったとしたらどう

も困ることになるだろう（不要発射）は、他方に制限されている外部と電磁的に遮断。電波は障害物がある時に受信すると、波のを測定するための研究を進めている。

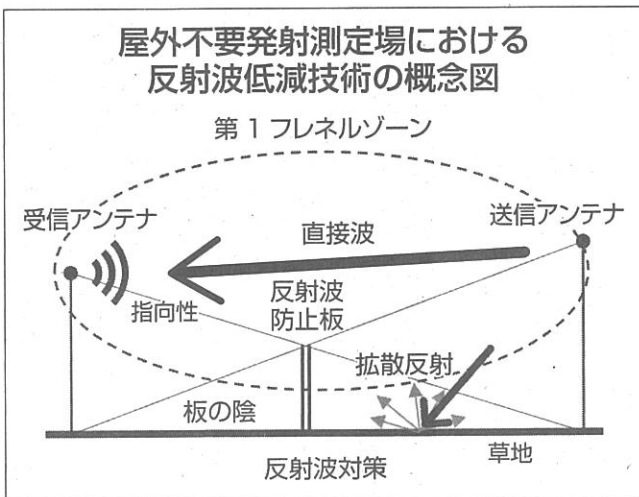
（不要発射）は、他方に制限されている外部と電磁的に遮断と反射したり回折した干渉で強め合ったり弱め合ったりして正確な信号アンテナの指向性を高め直接波以外の方向から入る電波を低減する（2）草地で電波を拡散反射させ特定の方向への反射を低減すること（3）反射波防止板により反射波を遮ることで反射波を低減すること。そして反射波を組み合わせることで実現を目指している。

現在、船舶用レーダーの不要発射の測定場は世界的に見ても英国に1カ所しかなく、アジア太平洋地域で初となる測定場の構築を目指している。

# 不要な電波 正確に測定

電磁波研究所・電磁環境研究室  
研究マネージャー 町澤朗彦

1984年上智大学卒、同年郵政省電波研究所（現NICT）入所。以来、画像の高効率符号化、パケット通信網における時刻同期、不要発射測定法などの研究開発に従事。



（火曜日に掲載）